



本プログラムの目的

情報システム部門の業務・役割・可能性を正しく理解し、高い意識で業務に取り組める人材を育成する研修です。「ビジネスルール(作法)」「業務知識」を基礎から徹底的に学び、基本的スキル・知識の底上げを行います。これまで 50 社 300 名以上が受講。新入社員必須の研修プログラムです。

本プログラムの特長

- 「IT の最新動向」「企業(事業)戦略と IS 戦略の関係性」「情報システムの体系的な作業プロセス」について、豊富なチーム演習と講義を通して、現場リスクや要点、勘所を支える知識を習得。
- JUAS セミナー人気講師、現役 IT 部門長等、JUAS 独自の講師陣で構成。自らのロールモデルやキャリアイメージを描く機会が多数。
- 今後のキャリアに活きる「異業同種」の同期ネットワークを構築。

参加者の声

- ◆ IT 技術の多岐に渡る形態・プロジェクトマネジメントの方法といった具体的な知識や、聴講力・主体性といった社会人としての心構えを学ぶことができた。
- ◆ 本研修を通じて、・プロジェクトの各工程の内容及び他工程に及ぼす影響 ・人によって文化や背景が異なること ・プロジェクトマネジメントには多くのスキルが求められること を学びました。
- ◆ IT の基礎知識、私たちの役割などを学ぶことができました。このような研修がなければ IT 部門の役割や多様な視点を心得る機会はなかったと思うのでとても貴重な体験でした。
- ◆ 情報システム部の一員としてどう仕事と向き合っていけばよいかをたくさん学べたと思います。
- ◆ 開発の上流工程だけでなく、ベンダーの方々がどのようなプログラミングを作っているのか、テストや運営はどういったことを考えているのか、各工程の連携はどうなっているのかということを理解することができたのは大きな財産であると感じている。
- ◆ システム系の人材としてこれから必要になる知識の膨大さを知るとともに、それらをこれから学び続けていく上でのモチベーションを高めることができた。
- ◆ 何よりも配属が IT 部門であった私は幸せであると感じることができた。当初は全く知識がなく配属や今後不安を覚えていたが、研修を通して多くの講師の方々からメッセージを受けとり、モチベーションを今以上に上げることができた。この意識の変化は私にとって一番の収穫であったと感じる。
- ◆ IT の知識が皆無の状態から研修に参加したが、1 か月間で多くのことを吸収できたように感じる。
- ◆ 知識をつけるという点でも、ビジネススキルをつけるという点でも精進しようという気持ちがより一層強くなった。
- ◆ 研修前は、IT の知識がほとんどなく、苦手意識さえもっていました。しかし、一か月間の学びで、もっと勉強したいと思うレベルになりました。講師の皆様のお話もわかりやすく、また、社会人として必要な心構えも教えていただくことができ、IT 部門の人間としても、社会人としても成長できました。
- ◆ 自分が今できることだけに取り組むのではなく、外界や未知を積極的に摂取する姿勢は持つべきだと感じた。

■2020 年度 ご参加企業 11 社 29 名(新入社員 27 名、2 年目社員 2 名)

味の素(株)、伊藤忠食品(株)、ENEOS(株)、JX アイティソリューション(株)、積水化学工業(株)、
ジュビターショップチャンネル(株)、(株)セブン銀行、全国農業協同組合連合会、日本発条(株)、日本ハム(株)、
(株)ブリヂストン



2021 年度 開催日程 ※諸般の事情により日程が変更になる場合があります。

A コース 情報システム部門人材としての考え方と基礎知識 & スキル研修+フォローアップ研修

日程：2021 年 6 月 21 日(月)～7 月 15 日(木) および 2022 年 2 月 4 日(金)

会場：日本情報システム・ユーザー協会(徒歩：小伝馬町駅 4 分、人形町駅 6 分、馬喰横山駅 8 分)

参加費：会員 530,000 円／一般 626,000 円(テキスト代、PC レンタル代含む/税込)

B コース 情報システム導入の実機演習

日程：2021 年 8 月 16 日(月)～9 月 9 日(木)

会場：船橋情報ビジネス専門学校(徒歩：JR 船橋駅 4 分、京成船橋駅 7 分)

参加費：会員 397,100 円／一般 459,800 円(テキスト代、PC レンタル代含む/税込)

JUAS A 「情報システム部門人材としての考え方と基礎知識 & スキル研修」カリキュラム(予定)

日数	月	日	曜日	科目名称	概要／キーワード
1	6	21	月	開講式／オリエンテーション プレゼンテーション基礎 社会人基礎力	IT 部門人材としての心構え・考え方、本研修プログラムの全体概要と修得知識・スキル プレゼンテーションの基本スキル 自らアクションし、学びとる考え方を身につけ、社会人として求められ、期待される姿を把握する
2	6	22	火	IT 部門のコミュニケーションスキル	ロジカルなコミュニケーションの基本スキル、プロジェクトファシリテーターの役割と演習、効果的な会議運営ルール
3	6	23	水	情報システム概論 ～情報システムの過去・現在・将来	情報システムの構成要素、企業における情報システム、情報システムの歴史・現状と将来展望、IT 部門に求められるミッション、今後 IT 部門に求められる資質・取組み
4	6	24	木	IT 基礎	パソコン分解実習、VBScript によるプログラミングの体験、ネットワークコマンド、PostgreSQL、SQL 体験、コマンドプロンプト・コントロールパネル・タスクマネージャを使った OS 実習、2 進数実習
5	6	25	金	設計基礎	システムの開発工程、アルゴリズム入門、フローチャート、機能設計、CRUD、コード設計、コード仕様書、データ設計、画面遷移図、画面レイアウト
6	6	26	土		
6	6	27	日		
6	6	28	月	企業	
7	6	29	火	社内	TBD
8	6	30	水	プロジェクトマネジメント①	PMBOK®ガイド概論(5つのプロセス群と10の知識エリア)、プロジェクトを取り巻く環境(ポートフォリオ、PMO)、演習から学ぶプロジェクト憲章、WBS、クリティカルパス、ステークホルダーマネジメント、リスクマネジメント、進捗・変更管理
9	7	1	木	プロジェクトマネジメント②	IT システム企画・開発でのプロジェクトマネジメントの理論と実践、模擬プロジェクト体験、プロジェクトに必要なヒューマンスkills(コミュニケーション、コンフリクトマネジメント、チームビルディング)
10	7	2	金	情報化プロセス体験研修①	経営戦略と情報戦略/情報企画、プロセスマネジメントとプロジェクトマネジメント プロジェクトの立上
7	7	3	土		
7	7	4	日		
11	7	5	月	情報化プロセス体験研修②	経営層の要求確認、IT 化の全体像(ビジネス要件)、 情報戦略企画書の確認(全体像/スケジュール/概算/スコープ/体制/インフラ連動)
12	7	6	火	情報化プロセス体験研修③	対象業務プロセス、情報システムの現状確認、新業務プロセス設計 運用評価指標(業務KPI)の設定
13	7	7	水	情報化プロセス体験研修④	新システムの機能要件、新システムの非機能要件、システム投資対効果
14	7	8	木	情報化プロセス体験研修⑤	新システムの機能要件、新システムの非機能要件、システム投資対効果
15	7	9	金	情報化プロセス体験研修⑥	情報システム企画書作成、RFP の発行による調達 IS 導入計画 プロジェクト進捗会議、本書リリース決定、正式リリース
7	7	10	土		
7	7	11	日		
16	7	12	月	システム導入体験演習	企画～導入までの疑似体験研修を踏まえた開発プロセス工程の体験演習
17	7	13	火	システム運用	IT サービスとしてのシステム運用の価値、システム運用業務・プロセス システム運用から見たシステム評価、ITIL
18	7	14	水	情報システムセキュリティ	情報セキュリティ原則(機密性、完全性、可用性)、リスクマネジメント、情報ライフサイクル、発注者側責任(C&A)、SLD/C/SLC、情報セキュリティマネジメント効果
19	7	15	木	IT 活用の今 プレゼンテーション／閉講式	企業、国におけるIT活用の最新動向・事例 アクションプランの個人プレゼンテーション、振り返り、修了証授与
・6ヶ月後・					
20	2	4	金	フォローアップ研修	アクションプランの進捗報告、キャリアプランの報告、グループディスカッション

※[先連に学ぶ「IT 仕事術」]は別途開催予定です。
一部のセッションは公開となる場合がございます。また、内容は変更する場合がございます。

JUAS B 「情報システム導入の実機演習」カリキュラム

日数	月	日	曜日	科目名称	概要／キーワード
1	8	16	月	アルゴリズム入門	アルゴリズム概要、流れ図の基礎
2	8	17	火	プログラミングⅠ ① (Java 言語 制御文法編)	Java の基本構文、変数とデータ型
3	8	18	水	プログラミングⅠ ② (Java 言語 制御文法編)	基本構文、メソッド
4	8	19	木	プログラミングⅡ ① (Java 言語 オブジェクト指向編)	オブジェクトとクラス
5	8	20	金	プログラミングⅡ ② (Java 言語 オブジェクト指向編)	継承、例外
8	8	21	土		
8	8	22	日		
6	8	23	月	アプリケーション開発要素	HTML 入門、SQL 入門
7	8	24	火	プログラミングⅢ ① (Web アプリケーション入門)	Web アプリケーション、Web サーバ、Java サーブレット
8	8	25	水	プログラミングⅢ ② (Web アプリケーション入門)	JSP、セッショントラッキング、データベース連携
9	8	26	木	IS 導入入門 ① (システム開発技術)	プロジェクト計画、システム要件定義、システム方式設計、ユーザー受け入れテスト計画
10	8	27	金	IS 導入入門 ② (システム開発技術)	ソフトウェア要件定義、ソフトウェア方式設計
8	8	28	土		
8	8	29	日	祝日(山の日)	
11	8	30	月	IS 導入入門 ③ (システム開発技術)	ソフトウェア詳細設計
12	8	31	火	IS 導入入門 ④ (システム開発技術)	コーディング
13	9	1	水	IS 導入入門 ⑤ (システム開発技術)	コーディング
14	9	2	木	IS 導入入門 ⑥ (システム開発技術)	コーディング
15	9	3	金	IS 導入入門 ⑦ (システム開発技術)	コーディング
9	9	4	土		
9	9	5	日		
16	9	6	月	IS 導入入門 ⑧ (システム開発技術)	コーディング
17	9	7	火	IS 導入入門 ⑨ (システム開発技術)	コーディング
18	9	8	水	IS 導入入門 ⑩ (システム開発技術)	コーディング、ユーザー受け入れテスト
19	9	9	木	IS 導入入門 ⑪ (システム開発技術)	製作システムの最終チームプレゼンテーション

※内容は変更する場合がございます。

◆お問合せ◆ shinjin@juas.or.jp

(担当：渡邊・森・菊地・酒井)

お気軽にお問合わせください。

<https://juaseminar.jp/pages/shinjin>